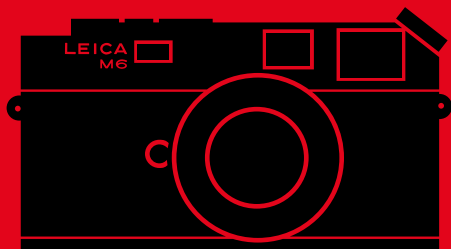
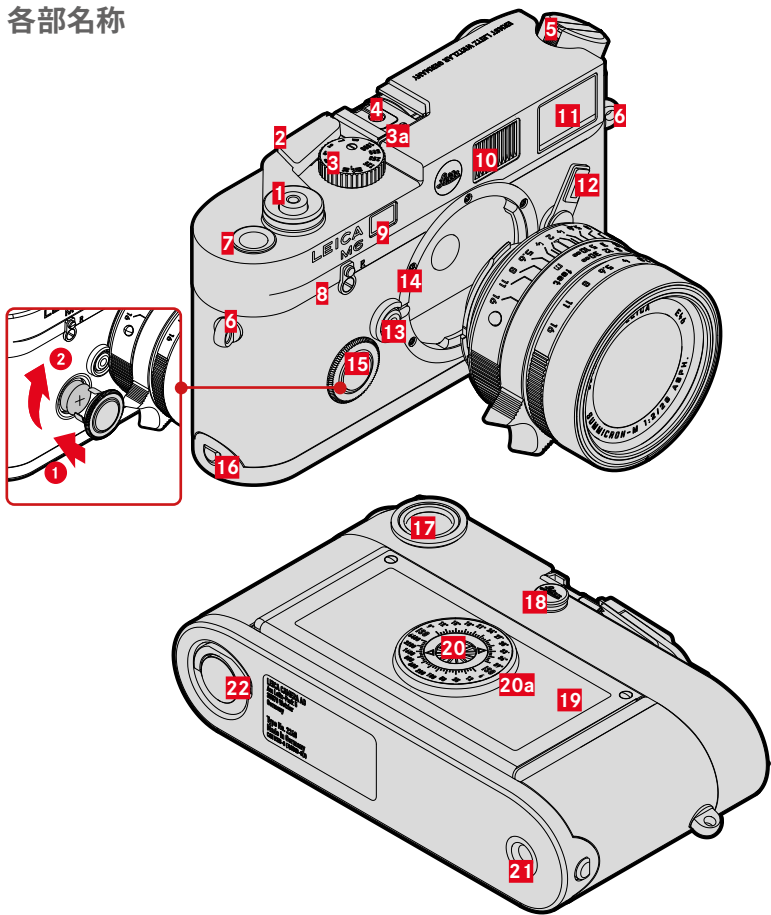


LEICA M6

クイックスタートガイド



各部名称



1 シャッターボタン

半押し:

- 測光機能を起動

全押し:

- 撮影

2 巻き上げレバー

3 シャッタースピードダイヤル
(クリックストップ付き)

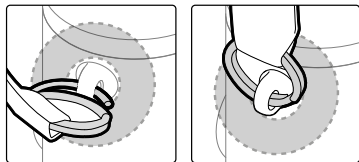
- 1s - 1000: シャッタースピード
- B: 長時間露光、カメラの電子回路の電源を切る
- $\frac{1}{2}$: 1/50秒、より遅いシャッタースピードが使用可能

a 指標

4 ホットシュー

5 フィルム巻き戻しクランク

6 ストラップ取り付け部



7 フィルムカウンター

8 巻き戻し解除レバー

9 距離計窓

10 ブライトフレーム探光窓

11 ファインダー

12 フレームセレクトナー

ブライトフレームの組み合わせ:

35/135mm、50/75mm、28/90mm

13 レンズ着脱ボタン

14 レンズマウント

15 電池スロット (カバー付き)



酸化銀ボタン電池 (PX76

またはSR44) 2個

または

リチウムボタン電池

(DL1/3N) 1個

16 底蓋固定ピン

17 ファインダー

18 ケーブル付きフラッシュユニット用シンクロソケット

19 裏カバー (開閉式)

20 フィルム感度ダイヤル

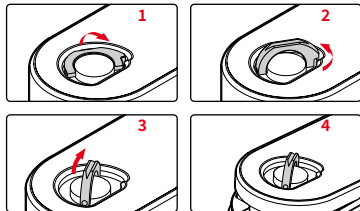
6 - 6400: フィルム感度指標

a 指標

21 三脚用ねじ穴 A 1/4

(1/4インチ、DIN 4503に準拠)

22 底蓋開閉つまみ



ファインダー内の表示

本機のブライトフレームファインダーは、レンズに合わせて距離計が機能する距離計連動式です。距離計と連動するレンズは、焦点距離が16～135mmのすべてのMレンズです。

35mm/135mm



28mm/90mm



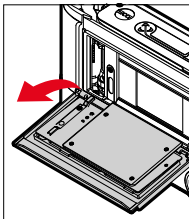
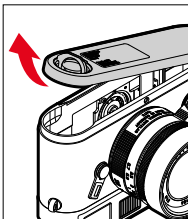
A ブライトフレーム
B フォーカシングエリア
C 露出レベル

50mm/75mm

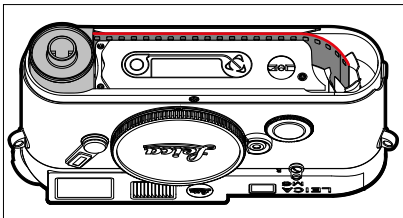


フィルムの交換

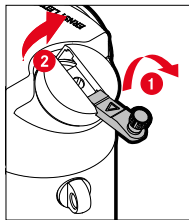
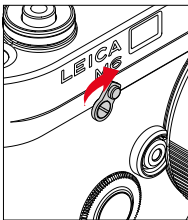
カメラを開ける



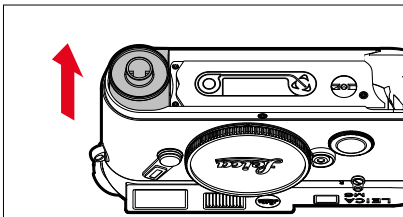
フィルムを入れる



フィルムを巻き戻す

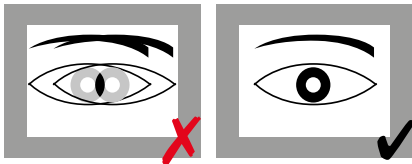


フィルムを取り出す



ピントを合わせる

二重像合致式



スプリットイメージ方式



テクニカルデータ

カメラ

名称

ライカ M6

形式

アナログレンジファインダーカメラ (35mm)

型番

2248

商品コード

10557

材質

本体：密閉型金属製
本体上面、底蓋：真鍮製、ブラックペイント仕上げ

レンズマウント

ライカ Mマウント

動作環境

0°C~+40°C

質量

575g (電池含まず)

ファインダー

ファインダー

大型ブライトフレームレンジファインダー (パララックス自動補正機能付き)

シャッター

シャッター方式

水平走行式ゴム引き布幕フォーカルプレーンシャッター、メカニカル制御式

シャッタースピード

フォーカルプレーンシャッター：1秒~1/1000秒
フラッシュ同調速度：~1/50秒

ピントを合わせる

合焦範囲

70cm~∞

電源

酸化銀ボタン電池 (PX76/SR44) 2個またはリチウムボタン電池 (DL1/3N) 1個

本製品の製造日は、製品パッケージに貼付しています。表示形式：年/月/日

本書で説明する製品のデザインや仕様などは予告なく変更される場合があります。

注意事項

一般的な取り扱いについて

- 小さな付属品を保管するときは、次の点にお気をつけください。
 - 乳幼児の手の届くところに置かない。
 - 製品パッケージの所定の位置など、紛失しない場所に保管する。
- 指定されたアクセサリ以外は使用しないでください。故障、感電、ショートの原因になります。
- 本製品を分解・改造しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにて専門の修理担当者にご依頼ください。
- 殺虫剤などの強い化学薬品をかけないようにしてください。お手入れの際は、軽油、シンナー、アルコールも使用しないでください。薬品や溶剤によっては、本体表面が変質したり、表面の加工が剥離することがあります。
- ゴム製品やビニール製品は、強い化学物質を発生することがありますので、長期間接触させたままにしないでください。
- 雨や雪の中、または浜辺などで使用するときは、内部に水滴や砂、ほこりなどが入り込まないようにお気をつけください。レンズ交換（システムカメラ使用時）やフィルムの出し入れの際は特にお気をつけください。砂やほこりが入り込むと、本製品、レンズの故障・破損の原因となります。水滴が入り込むと、正常に動作しなくなったり、修理できなくなることがあります。

レンズ

- レンズの正面に強い太陽光が当たると、レンズがルーペと同じ作用をします。太陽光とレンズの作用により内部が破損しますので、レンズを保護せずに強い太陽光に向けたまま放置しないでください。
- レンズキャップを取り付け、日陰に置く、またはケースに収納するなど、強い太陽光が当たらないようにしてください。

キャリングストラップ

- カメラの落下を防ぐため、キャリングストラップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- キャリングストラップは丈夫な材質によって作られています。乳幼児の手の届かないところに保管してください。首に巻きつくなど、事故につながるおそれがあります。
- キャリングストラップは、カメラまたは双眼鏡を持ち運ぶ目的のみご使用ください。傷害の原因となる可能性があるため、他の用途では絶対に使用しないでください。
- キャリングストラップが引っかかり、首が絞まるおそれがあり危険なため、登山やアウトドアスポーツの際には使用しないでください。

三脚

- 三脚を使用するときは、三脚の強度をご確認の上、カメラ本体ではなく三脚の方を回して取り付けてください。

- 三脚を取り付ける際は、三脚のねじを回しすぎたり、無理な力を加えないようご注意ください。
- また、カメラを三脚に取り付けたまま持ち運ばないでください。他人を傷つけたりカメラを破損するおそれがあります。

フラッシュ

- 本機に対応していないフラッシュユニットを使用した場合、カメラおよびフラッシュユニットが破損するおそれがありますので、使用前に必ずご確認ください。